

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

## 熊本県のボランティア活動の特徴

～令和3年社会生活基本調査結果から～

令和3年社会生活基本調査は、国が実施する統計調査のうち統計法において特に重要なものとされる「基幹統計調査」として、昭和51年以降5年ごとに実施しており、10回目の調査となります。熊本県内では、34市町村、1704世帯の10歳以上の世帯員を対象として実施しました。調査に御協力いただいた皆様方に深く感謝を申し上げます。

調査の目的は、私たちが1日にどのくらいの時間を、仕事、家事、地域活動に費やしているか、また、過去1年間、スポーツ、趣味・娯楽、ボランティア活動など、どのような活動を行ったかを調査し、社会生活の実態を明らかにすることです。

ここでは、令和4年8月に公表された本調査の結果から、本県のボランティア活動の特徴を見ていこうと思います。

まず、活動内容別に熊本県の行動者率と全国平均の行動者率を比較すると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」及び「国際協力に関係した活動」の2つの分野で全国を下回っているものの、その他の分野では全国平均を大きく上回り、全国順位も多くの活動内容で10位以内に位置しています。全国の中では、本県はボランティア活動によく参加する県であることがわかります。

### 活動内容別行動者率全国との比較・全国順位

活動内容	全国(%)	熊本県(%)	全国順位
何らかの活動に参加	17.83	22.17	9
災害に関係した活動	0.79	2.51	1
障害者を対象とした活動	0.93	1.19	4
健康や医療サービスに関係した活動	2.15	2.58	5
子供を対象とした活動	4.58	5.76	9
まちづくりのための活動	7.40	11.32	9
自然や環境を守るための活動	3.03	4.30	9
高齢者を対象とした活動	2.45	2.91	15
安全な生活のための活動	3.08	3.64	16
国際協力に関係した活動	0.78	0.60	25
スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	2.78	2.25	42

さらに、本県におけるボランティア活動の中で、「災害に関連した活動」を行った行動者率が、全国でトップとなっています。熊本地震や豪雨災害の復旧復興等の影響も考えられ、このことは、地震、豪雨災害等が近年起こっている府県が上位に多く入っていることからもうかがえます。

### 「災害に関係した活動」の都道府県別行動者率

順位	都道府県	行動者率(%)
1	熊本県	2.51
2	佐賀県	1.85
3	長野県	1.43
4	滋賀県	1.35
5	山梨県	1.24
6	宮城県	1.16
7	大阪府	1.07
8	島根県	1.02
8	岩手県	1.02
8	静岡県	1.02



この機会に、あなたもボランティア活動への参加を検討してみませんか。

※行動者率：行動者数／属性別の人口（10歳以上人口）×100%

問合せ先：熊本県企画振興部 交通政策・統計局 統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1  
電話：096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp